



グローバルリーダー教育課程とは

科学技術や世界経済が国境を越え、ますますグローバル化が進む21世紀にあって、我が国においても、解決すべき政治課題の国際化や企業における事業の海外展開が一層進み、それにともないさまざまな分野でグローバルに活躍できるリーダー人材が必要とされています。

東京工業大学グローバルリーダー教育院（AGL）は、科学技術分野に強みを有する本学ならではの持ち味を活かし、全学を挙げて設置した国際的リーダー人材を養成する学位プログラムを有する教育院として平成23年4月に設置され、平成24年度には文部科学省「博士課程教育リーディングプログラム」に採択されました。

全研究科より士気あふれる学生を募り、個々の専攻分野における深い専門知識をベースに、そのスキルを他分野の科学技術の発展に活かすことのできる素養、日本や世界における文化の理解と国際性、技術経営に関する知識、コミュニケーション能力、俯瞰力や行動力を備えた、“真のグローバルリーダー”を育成することを最大の目的としています。

教育課程概要

本教育課程では、学生が選択するコースにおける専門課程の教育に加えて、リーダーシップ基礎科目、道場科目、オフキャンパス教育科目を履修することを求めています。特に道場科目では、専門分野の異なる学生のグループワークにより、コミュニケーションやリーダーシップ能力の涵養だけでなく、他者の成果を理解し、自らの専門分野に対する自信を高めることが期待されます。さらに、本教育課程の修了に際しては、選択するコースにおける専門課程での修了審査に合格することに加えて、グローバルリーダー教育院が実施する「ディフェンス」において様々な分野の審査員団に自らの履修成果の社会的意義や将来構想を説明し、国際的リーダー人材として十分な素養を身につけたと評価されることが求められます。

このような教育課程を選択するコースにおける専門課程と両立させるため、本課程では原則として修士・博士一貫型の教育体系を採っています。

教育体系

グローバルリーダー教育課程では、「修士・博士一貫教育システム」を採用しています。博士としての卓越した専門能力の獲得と、グローバルリーダーとしての能力の修得を、修学期間内に自らタイムマネジメントしながら両立させます。

グローバルリーダー教育課程に所属した学生には、学生同士が互いに切磋琢磨し自己を磨く「道場科目群」が用意されています。在籍する専攻における専門分野の高度な知識や能力を修得しつつ、同時に道場科目を履修し、志向や専攻分野を異にする学生同士でディベートやグループワークを重ねていくことで、実社会においていかなる場面でも応用の利く対話力や合意形成力を身につけます。

そしてもう一つ、特徴的なプログラムといえるのが、「オフキャンパス教育」です。自身の専門知識や能力、道場で磨きをかけた素養やリーダーシップを実社会で試し、どこまでが通用し何が足りないかを再認識する機会として、海外・国内の企業、国際機関、研究機関などで3ヶ月以上のプロジェクトに取り組みます。

こうしたハードな教育課程で日々能力を高め、人間力を養い、強靱なリーダーシップを発揮できる力を磨きます。

